



慶應義塾大学ビジネス・スクール

iRobot Japan G.K. 2020 (B)

5

— 挽野 元の挑戦 第2創業期のリーダーシップ —

「2020年はミッションとビジョンをジブンゴト化してもらいたい。会社を自分に置き換えて、自分のミッションとビジョンが何かを是非考えてもらいたいと思っている。アイロボットで働く人々には、世の中で何が起ころうが、私達のミッションとビジョンを常に力強く語りながらより良い社会を創ってほしい。今、それを実現できる胆力を社員全員で鍛えることが必要なのです。」

10

— アイロボット・ジャパン合同会社 代表執行役員社長兼 APAC 副社長 挽野 元 —

15

Chapter0 Prologue

「アイロボット 30 年の英知が詰まった “Beast” を是非皆さんにも後程体感頂きたい。」

アイロボット・ジャパン合同会社(以下 IRJ)代表執行役員社長兼 APAC 副社長の挽野 元(ヒキノハジメ)は静かに語り始めた。2020年2月19日、IRJは渋谷ヒカリエにおいて100名以上のメディアを招いて、ハイエンドモデルの新製品“ルンバ s9+”のローンチイベントを実施していた^[1]。アイロボット社が日本市場へ進出して10年以上が経過しているが、まだ可能性を秘めた市場であり本社の期待値も高い。この新製品を軸に更なる成長を狙っていた。

20

25

^[1] <https://www.youtube.com/watch?v=w9qmIhaWtZc> iRobot ルンバ s9+ 製品発表会 (2020)

このケースは、辻岡修平が名古屋商科大学ビジネススクール高木晴夫教授による指導の下で、クラス内での議論を行う事のみを目的として作成されたものであり、記載された内容は当該企業の意見を代表するものではない。また、記載された事実関係、固有名詞、および数値等は議論のために偽装/匿名化されている場合もあり、いずれも当該企業の一次情報を提供するものでも、経営の巧拙を問うものではない。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクールまで(〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話 045-564-2444、e-mail:case@kbs.keio.ac.jp)。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法(電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない)による伝送も、これを禁ずる。ケースの購入は <http://www.bookpark.ne.jp/kbs/> から。

30

Copyright © 辻岡修平、高木晴夫 (2020年11月作成)